

「エールを送ろう」

県立神戸高等学校長
新谷 浩一

○ 2月が逃げていきます

先月の終わり、華道部が飾ってくれた花は春の気配を感じさせてくれました。メッセージが添えられています。『今日の花材はサンダーソニア、カーネーション、タマシダです。今日は1年生が新しく入部してくれました。お稽古がいつもより賑やかで新鮮な雰囲気でした。今回のお花がすべて春らしい色なので今よりも少し暖かい春が待ち遠しいです』 市街地より気温の低い私たちの学び舎、春が待ち遠しいですね。



それにしても2月が半ば終わるのですね。学校長協会の役員をさせていただいている関係もあり、県下の高校や特別支援学校の周年行事には私はよく招いていただいています。そのたびに学校を留守にするのは甚だ心苦しいのですが、自分とは縁のなかった学校の歴史に触れ、思いを馳せることは喜びでもあります。

くわえて、式典にはその学校の歴代の校長先生方も出席されます。長く県教委で働かせてもらったこともあり、いずれの学校でも20年くらい前までの校長先生であれば「お久しぶりです」と笑い合える仲です。かつて出会い、言葉と心を交わした方々と年月を隔てても笑い合える、こんなに幸せなことはありません。



通信22号に播磨特別支援学校の生徒が作った革細工の話を添えましたね。今年の高等特別支援学校の周年行事では陶工の授業で生徒が制作したという『三誓小皿』をいただきました。「皿の模様の三点から、校訓（意欲・根気・自立）の三つの誓い『三誓』とつけました」との言葉が添えてあります。思いが伝わってきます。この味わいあるお皿は毎朝使わせていただき、1日の活力をいただいています。感謝です。

ちなみに昨年度の私は加古川東高校で創立100周年式典をさせていただきました。実行委員長の同窓会長は生徒にこのような言葉を掛けました。「この度の100周年式典、仕切らせてもらった僕は28回生です。じゃあ、50年後の150周年式典を取り仕切るのは78回生かな。ちょうど今の2年生ということかあ。まあ、この会場内の誰かやな。頼んまっせ」 まっすぐなエールに会場内の空気はぎゅっと引き締められましたね。

本校も残り3ヶ月も経たないうちに創立130周年を迎えます。10年に一度の神戸高校の大きな誕生日、今の1、2年生を中心に私たちはこの日を迎えることとなります。身がぎゅっと引き締まる思いです。

さて、本日は生徒休業日です。皆さんのなかには寛いだ朝を過ごしている人もいるかもしれません。それでも殆どの3年生は大学進学のための受験や、そのための準備をしていますかね。「幸あれ」と願うばかりです。また同時に、ここ神戸高校でも皆さんが丁寧に清掃してくれた校舎に県内の中学生が集い、推薦入学試験に挑んでくれます。出願者の倍率は今年も定員の2倍を超えました。それだけ多くの方々が私たちとともに創立130周年を迎えたいと思ってくれているのですね。有り難い限りです。

では、今号は78回生と、本校81回生となることを望んでくれている受検生へのエールで締めくくりましょうか。

共通テスト前日の学年集会において、サプライズ的に披露された78回生担任団による、学ランを着込んでのエールシーンを再現します。あたたかい学年団ですね。ご利益がありますように。

